



# 第13回 全日本ホルスタイン 共進会北海道大会

10月7日(金) ~ 10日(月) 開催

## 全日本ホルスタイン共 進会の歴史について

昨年、広報あびらでは「特集全日本ホルスタイン共進会の歴史について」全6回のうち2回(第1回大会から4回大会)までの歴史と入賞牛を紹介し休止しましたが、今月号から再開することとしてシリーズ1、2のダイジェスト版をご紹介します。

第13回全日本ホルスタイン共進会「北海道大会」は、昨年宮崎県で家畜伝染病「口蹄疫」が発生したことにより、防疫上の見地から1年延期とし、今年の10月7日(金)から10日(月・祝)までの4日間、安平町で開催されます。



第1回共進会ポスター

## 【シリーズ1】

平成22年5月号掲載

第1回全日本ホルスタイン種牛共進会(神奈川県開催 参観者10万人)

1951年(昭和26年)3月24日~27日の4日間、神奈川県平塚市平塚競輪場を舞台に30道府県から出品者137名と157頭(北海道19名29頭)の出品の中、日本型ホルスタイン標準による審査を行うことを宣言し『わが国空前の乳牛の祭典』『生紀の祭典』が開催されました。

◇全国規模の共進会は、大正9年の畜産博覧会、大正11年の平和博覧会に次ぐ30年ぶりの開催で、前2回の博覧会においては、ホルスタイン、エアシャー・和牛などが混在した共進会であり、ホルスタイン種としては初めての開催でした。

(成績)

- ・第3部
  - 1等2席 山田一英(北海道安平村) ※第1キングオブスベッスバーク

第2回全日本ホルスタイン共進会(静岡県開催 参観者20万人)

1956年(昭和31年)3月23日~27日の5日間、静岡県静岡市の駿府公園において開催され、出品頭数200頭のうち北海道からは21頭(10戸)の出品がありました。

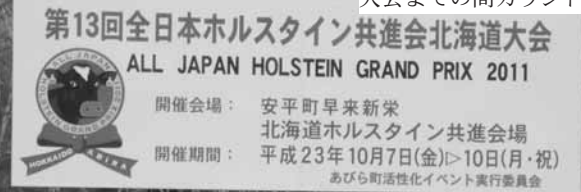
この共進会では、審査区分が見直され、クラスを分け同一条件で比較検討できるよう未経産牛の部の2分化、父系統群審査の部を設け、更には乳器特別審査を試みるなど第1回から大きく進化した形となりました。また、種系牛においても未経産のクラスが2部設けられ、軽産牛と合わせ3部の構成となりました。

(成績)

- ・第3部
  - 1等1席 溝口貞夫(北海道早来町) ※クイーンウォーカーダヴィドソン
  - ・乳器部
    - 2席 山田一英(北海道早来町) ※マダムコールヘンドリカフォーブス

## PRをはじめています

公共施設を中心に看板の設置やポスターの掲示などを行っています。更に <http://www.holsteingp.jp/> では大会の詳細及び大会までの間カウントダウンを行っています。



街灯

早来駅前



公用車